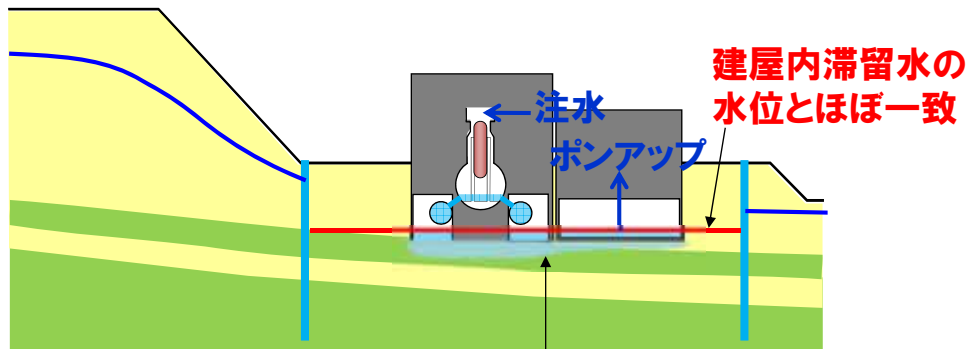


5. 地下水位コントロールの具体的内容(6/6)

【施工後】

課題



滞留水が拡散で漏洩

凍土遮水壁が施工されても、閉合域内には難透水層からの浸入、雨水の浸透によりある程度の地下水が供給される。閉合域内の地下水は建屋内に向かうため、滞留水の漏洩は基本的にはないと考えられる。

しかしながら、閉合域内への地下水流入が十分に遮断され、滞留水の水位と地下水位がほぼ一致する場合、**滞留水が拡散で建屋外に漏洩**する恐れは否定できない。

Ex 拡散による滞留水の移動量: 保守的にみて、10年間で1.5m程度
ドライアップで対応